

美空~MISORA~

第187号

発行日:2025年 4月5日

発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

目次 INDEX

- ・活動報告
- 東京理事会・合同理事会 …… 1
- ・第13回無電柱化推進展協賛のご案内… 2
- ・第9回全国技術委員会 OSAKA …… 3
- ・NPO・HP 会員企業向け広告募集 …… 8
- ・インターン生アンケート調査報告ほか… 9

特定非営利活動法人

電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

【活動報告】

2025年3月12日(水)17:00~17:30

東京理事会

場所:WEB (Cisco Webex)

参加者:8名

■議事内容■

1. 4月22日の東京活動委員会について

1. 伊津支部長の話(10分程度)
あいさつと2025年度の東京支部の方針を発表する予定。
2. 野原理事に低コストWGの解説(20~25分)
3. まだこれから交渉 候補の検討
4. 事務局報告(10分)

2. シンポジウムの件

3. その他

- ・6/5(木)の 首長会総会のNPO手伝いの件
衆議院第1議員会館地下会議室
前日の予約がとれず、準備も当日13:30から
開始は15:00、受付は14:30。ハイブリッド開催希望。
当日お手伝いいただける会員さまを募集。

4. 東京支部の方針に関して

- ・とりまとめ済み。
- ・次回の東京活動委員会で概要を伝える。

5. 次回理事会の予定

- 4/22(火)17:00~ 住友林業会議室 M-6・WEB
- ・17:30~合同理事会
- ・18:00~東京活動委員会

◆今後の東京活動委員会の日程◆

6 /24(火)

18:00~19:15 住友林業会議室M-6 (経団連会館)

8 /7 (木)

18:00~19:15 住友林業会議室M-6 (経団連会館)

10/16(木)

18:00~19:15 住友林業会議室M-5 (経団連会館)

12/ 4(木)

18:00~19:15 住友林業会議室M-5 (経団連会館)

【活動報告】

2025年3月12日(水)17:30~18:00

合同理事会

場所:WEB (Cisco Webex)

参加者:10名

■議事内容■

1. 高田理事長より

去年は元旦に能登半島地震があり、9月には同じところに豪雨があり、いまだ復興はほとんど進んでいない状況です。

さらには最近各地で激しい山林火災が発生して多くの人、人家などが大きな影響を受けています。

要はこれまでにない災害が頻発していることではないでしょうか。もちろんのこと停電・断水などこれまでにない身近なところに被害が発生していると言えるでしょう。

今後はまだまだ新しい災害が起こる考えられます。

そんな中で無電柱化の促進は急務ではないでしょうか。幸い2025年度方針案が出来て、本日の課題として挙げられています。是非とも皆さんの英知を揮ってこの方針案を固めて、その実行に早く取り組んでいくことをお願いしたいです。

2. 事務局報告(今後の予定を中心に)

※赤文字は、国交省関連、青文字は、首長会関連

2/13(水) 令和6年度第2回無電柱化推進技術検討会

2/25(火) 令和6年度第1回無電柱化推進のあり方検討委員会

3/12(水) 東京理事会・合同理事会 (WEBのみ)

3/25(火) 第9回全国技術委員会 OSAKA 大阪市立生涯学習センター5階第7研修室 15:00~16:45

4/14(月) 沖縄活動委員会

4/22(火) 東京理事会・合同理事会・東京活動委員会 住友林業会議室 M-6

5/22(木) 東京理事会・合同理事会 (WEBのみ)

5/30(金) 第10回全国技術委員会 OSAKA 大阪市立生涯学習センター5階第6研修室 15:00~16:45

6/5(木) 首長会総会 衆議院第1議員会館地下会議室

準備は 13:30←応援が必要。開始は 15:00、受付は 14:30。ハイブリッド希望。
当日参加できるかたを 4 月、5 月も引き続き声掛けをする。

6/20(金) 合同理事会・NPO 社員総会・総会セミナー
大阪市立総合生涯学習センター第 1 研修室

6/24(火) 東京理事会・合同理事会・東京活動委員会
住友林業会議室 M-6

7/23(水)～25(金) 第 13 回無電柱化推進展 東京
ビッグサイト東展示棟

3. 各支部方針に関して

・各支部の 2025 年度方針を 4 月中にまとめる予定。
→各支部・理事の意見を反映させて最終的な方針とする。

4. 合同理事会・総会・総会セミナーの日程・内容について

・6/20(金) 大阪市立総合生涯学習センター第 1 研修室に決定！
・スケジュールの相談と総会セミナーの講演候補
・総会のスケジュールは昨年にならって進めます。

◇ 合同理事会・総会日程(6/20)の予定◇

※13:00～14:00 準備

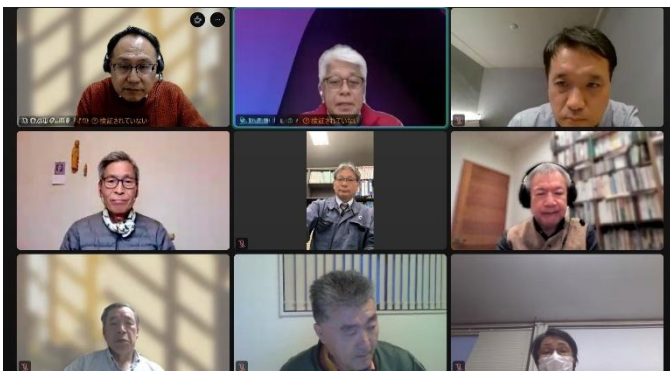
- | | |
|----------------|---------|
| 1. 14:00～14:30 | 合同理事会 |
| 2. 14:30～15:00 | 受付 |
| 3. 15:00～16:00 | 社員総会 |
| 4. 16:00～16:30 | 各支部方針発表 |
| 5. 16:30～17:00 | 準備・受付 |
| 6. 17:00～18:40 | 総会セミナー |

◇ 総会セミナーのスケジュール(6/20)の予定◇

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. NPO 高田理事長 挨拶 | 17:00～17:05(5 分) |
| 2. 講演 | 17:05～17:45(40 分) |
| ※質疑応答 | 17:45～18:05(20 分) |
| 3. 話題提供 | 18:05～18:35(30 分) |
| 4. 事務局報告 | 18:35～18:40(5 分) |
| 5. 交流会 | 19:00～ |

5. 今年度無電柱化推進展の展開に関して

・昨年と同様に 2 ブース展開で実施する。
→昨年のような協賛展示に賛同していただく会員企業さまを募集する



合同理事会の様子 (PC モニターより)

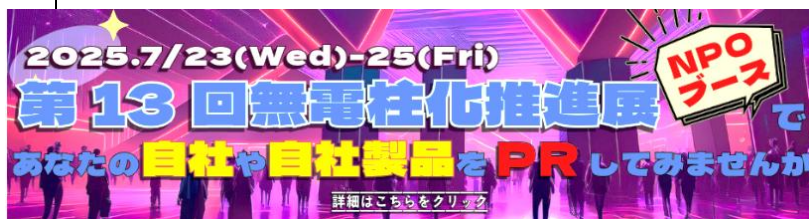
6. 支部長・理事報告

7. 無電柱のシンポジウム(案)として

8. 次回の予定

・4/22(火) 17:30～18:00 住友林業会議室 M-6

※東京理事会(17:00～17:30)



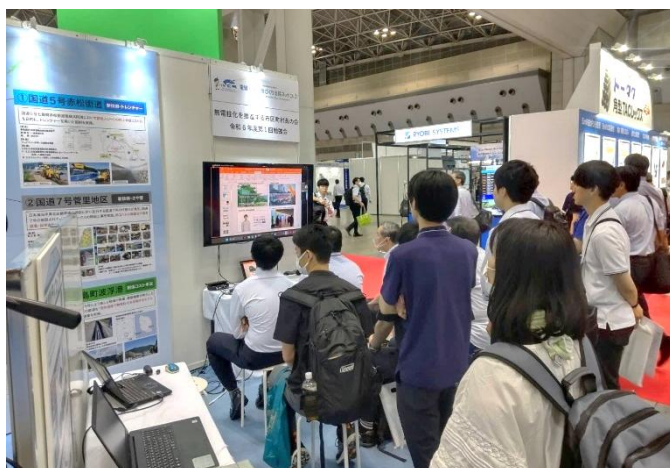
7月23日(水)～7月25日(金)開催

第 13 回無電柱化推進展のNPOブースで
自社及び自社製品をPRしませんか！

今年の 7 月も東京ビッグサイトで開催される無電柱化推進展に出展する予定です。

冊子・展示・PR動画など、皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っています。

是非、ご協賛お願い致します!!



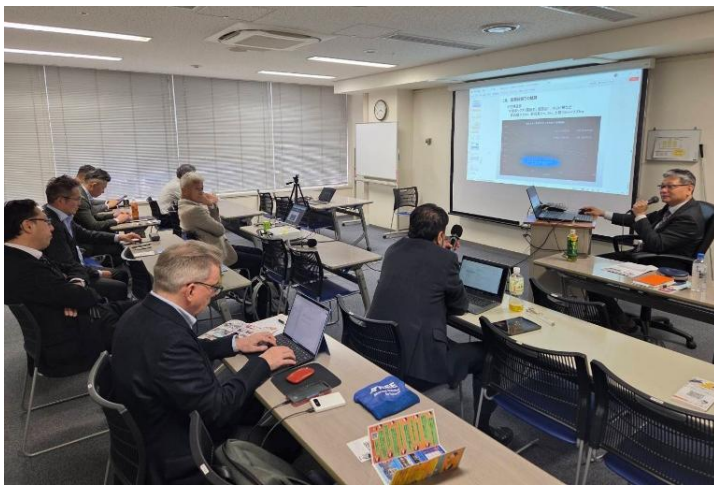
主な協賛のご案内

- 1 無電柱化低コスト製品・工法展示(机 1 台)
- 2 無電柱化低コスト製品・工法展示(机 0.5 台)
- 3 ポスター・パネル展示
- 4 自社製品発表会
- 5 CM協賛

多くの来場者にきていただけるよう努めて参ります。
より効果的な無電柱化推進のアピール方法を皆様と
考えていきたいと思ひます。是非、ご検討下さい！

詳しくは
こちらのHPの案内から
クリックお願いします！





第9回全国技術委員会 OSAKA 2025年3月25日(火) 15:00~16:40

場所:大阪市立総合生涯学習センター
5階第7研修室

WEB: Cisco Webex

参加者:会場 11名 WEB 21名

←第9回全国技術委員会 OSAKA の会場の様子

▶▶◀◀ 第1弾のあらすじ(11/24) ▶▶◀◀

道路の保全やメンテナンスにおいて長く実績のある
T-25 の規格は絶対であると考えられます。

- ・但し、近年全国で増えているラスト1マイル部分で道幅等や進入路の関係で電線共同溝の方式や規格を当てはめると**施工が困難な場所が増えており高コスト**につながっているためその状況を鑑みて通行車両にあった設計規格を合理的に採用できる道筋を考えます。

T-25 の正当な荷重設計方法として、適しているのは

- (ア) 電線共同溝
- (イ) 舗装の規格
- (ウ) 道路構造令
- (エ) 下水道(と鉄蓋)

- ・上記をベースとして道路交通法上の全ての車両が通行可能な道路と、そうではない道路を条件分けした場合に過大になると考えられるケースでT-25について検討を行えば、より軽く安く施工がスピーディな製品や工法につながるのではないかと

- ・特に近年全国で増えているラスト1マイル部分で施工が困難な場所が増えている事もあり、無電柱化(電線共同溝と分ける?)の規格について再検討をすべきではないかと

▶▶◀◀ 第2弾のあらすじ(1/24) ▶▶◀◀ 現在の無電柱化の手法との整合性

道路構造物それぞれに規模にあわせた活荷重の考え方がある。

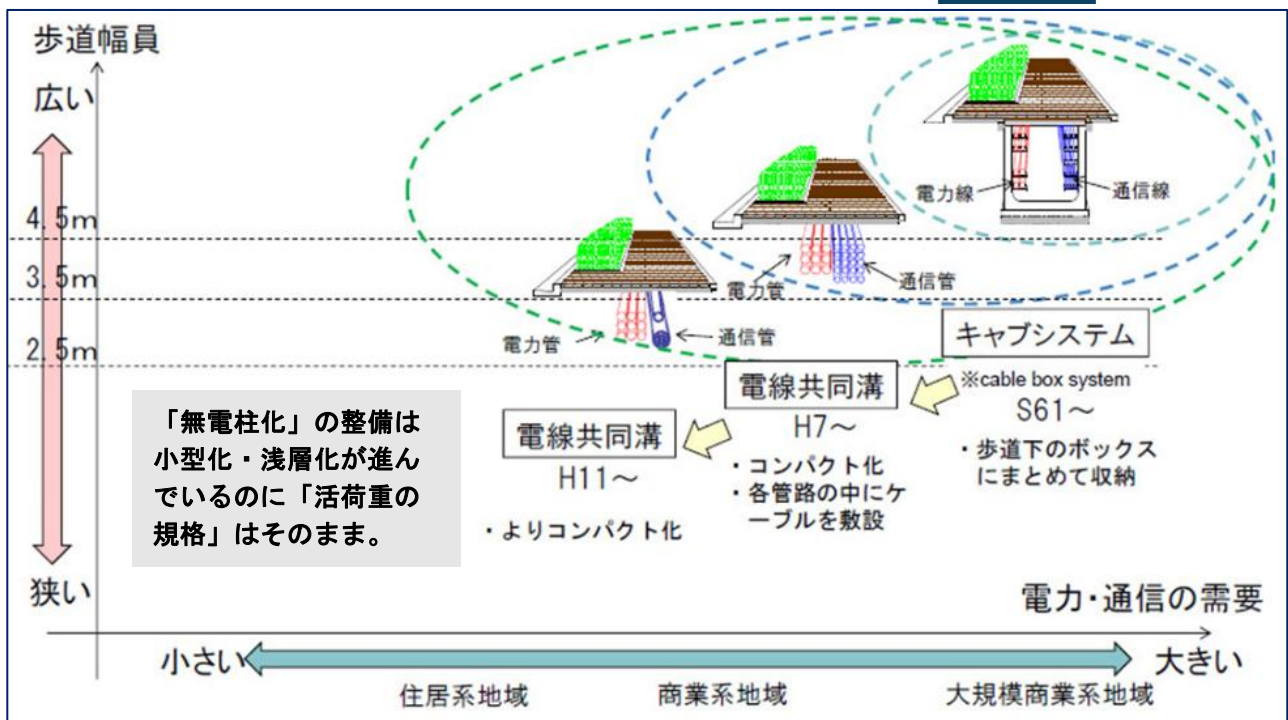
そもそもそれぞれの構造物は簡単に破壊されていない…。



「無電柱化」の整備は小型化・浅層化が進んでいるのに「活荷重の規格」はそのまま。



構造物の規模にあわせた
「活荷重の規格」が必要では？



輪荷重の考え方

◆道路橋示方書に記載の「T-25」

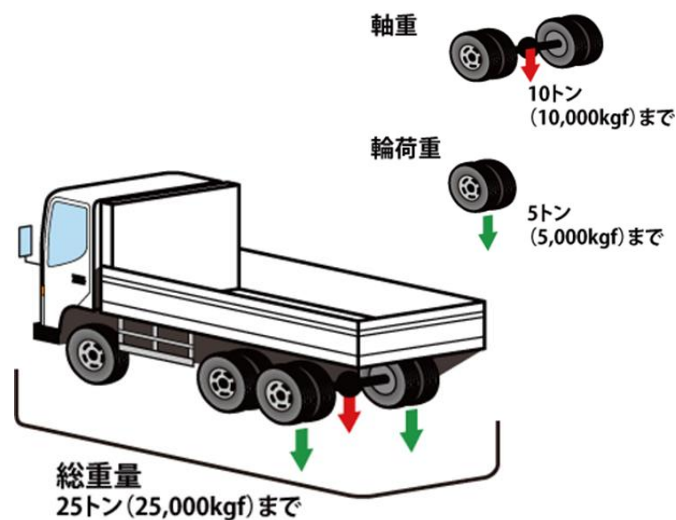
→道路橋示方書は、橋梁設計を目的としたもの
規模の大きい構造物が対象

◆車両制限令の輪荷重

車両制限令(昭和36年7月17日政令第265号)とは、
道路法第47条第1項に基づき、道路の構造を保全し、
または交通の危険を防止するため、通行できる車両の制限を定めた**政令**である。

通行できる**車両の幅、総重量、軸重、隣接軸重、輪荷重、**
高さ、長さ及び最小回転半径等の制限を定める。

→道路を通行する車両の制限が目的



◆電線共同溝に係る構造物の活荷重

◆ボックスカルバートの基準(協会提案式)

◆兵庫県図集 側溝・水路

※詳細は省略致します。

実情にあう規格とは

- ・活荷重については、T-25(道路橋示方書=100kN/輪)である必要はない。⇒**50 kN/輪**でよい。
- ・従来の「電線共同溝」の載荷方法は、ハンドホール・マンホールへの適用のイメージ。**交通量**についても考慮すべきでは？

(JIS 側溝は取替を前提に荷重を緩和して通行量の条件を設定?)

- ・50 kN/輪 (50cm×20cm) を載荷する場合でも、**製品の大小・交通量の大小・土被りの大小・製品長・製品幅**の違いにより、載荷方法や計算方法を検討すべきでは？
- ・ただし、小型ボックスの場合、側溝などと異なり、**ケーブルの移設が難しい**ことを考慮した**安全率**を設ける必要あり。←「図集」のままだと設置場所により破損の危険性、**側載荷重**についても**過少**では？

実情にあう規格とは

大型構造物

ハンドホール・マンホール(車道)

製品深さ：大(1m~2.5m)

製品幅：大(1m~2.5m)

製品長：大(2m~4m)

土被り：大(0.2m~1.2m)



「電線共同溝」

「ボックスカルバート協会提案式」

小型構造物

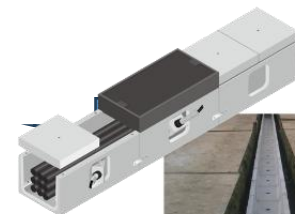
小型ボックス(露出型、埋設型)、
小さい枳など

製品深さ：小(0.5m~0.6m)

製品幅：小(0.4m~0.6m)

製品長：小(1m~2m)

土被り：小(0m~0.3m)



「図集+土被り・衝撃考慮」

「ボックスカルバート協会提案式」

次回、実際に計算をおこない、
適用すべき式を検証する。

直載時に発生する輪荷重を比較

そして今回(3/25)の会に続く!

試算の実施

考慮するファクター

※土被り 50 cm以下では
適用外の可能性が高い

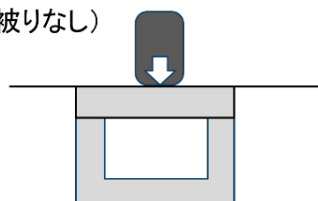
	電線共同溝	ボックスカルバート 協会提案式	※図集+土被り・ 衝撃考慮
土被り	○	△	○
長さ方向輪数	○	○※土被り前提	○
幅方向の車両幅	×	○※土被り前提	×
製品長	×	○※土被り前提	○
製品幅	×	×	○
車両近接走行	○	×	△



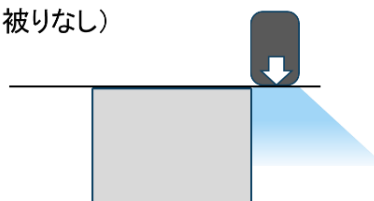
電線共同溝の計算方式は
土被りと長さ方向の輪数のファクターのみ考慮

直載と側載

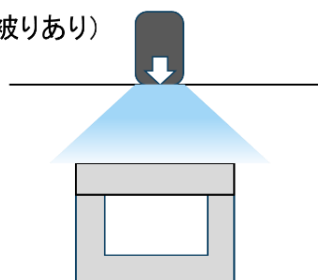
直載(土被りなし)



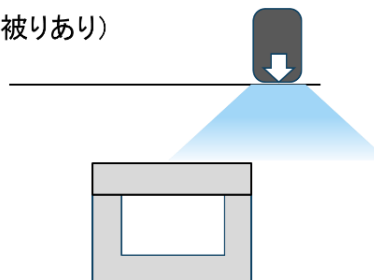
側載(土被りなし)



直載(土被りあり)



側載(土被りあり)



製品の上に載荷
主に蓋や頂板、底版に負荷がかかる

製品の横に載荷
側方土圧を介して、側面・底面に負荷
がかかる

※当日解説いただいた計算式とその解説は省かせていただいています。

直載荷重での試算

大型構造物 ハンドホール・マンホール(車道)

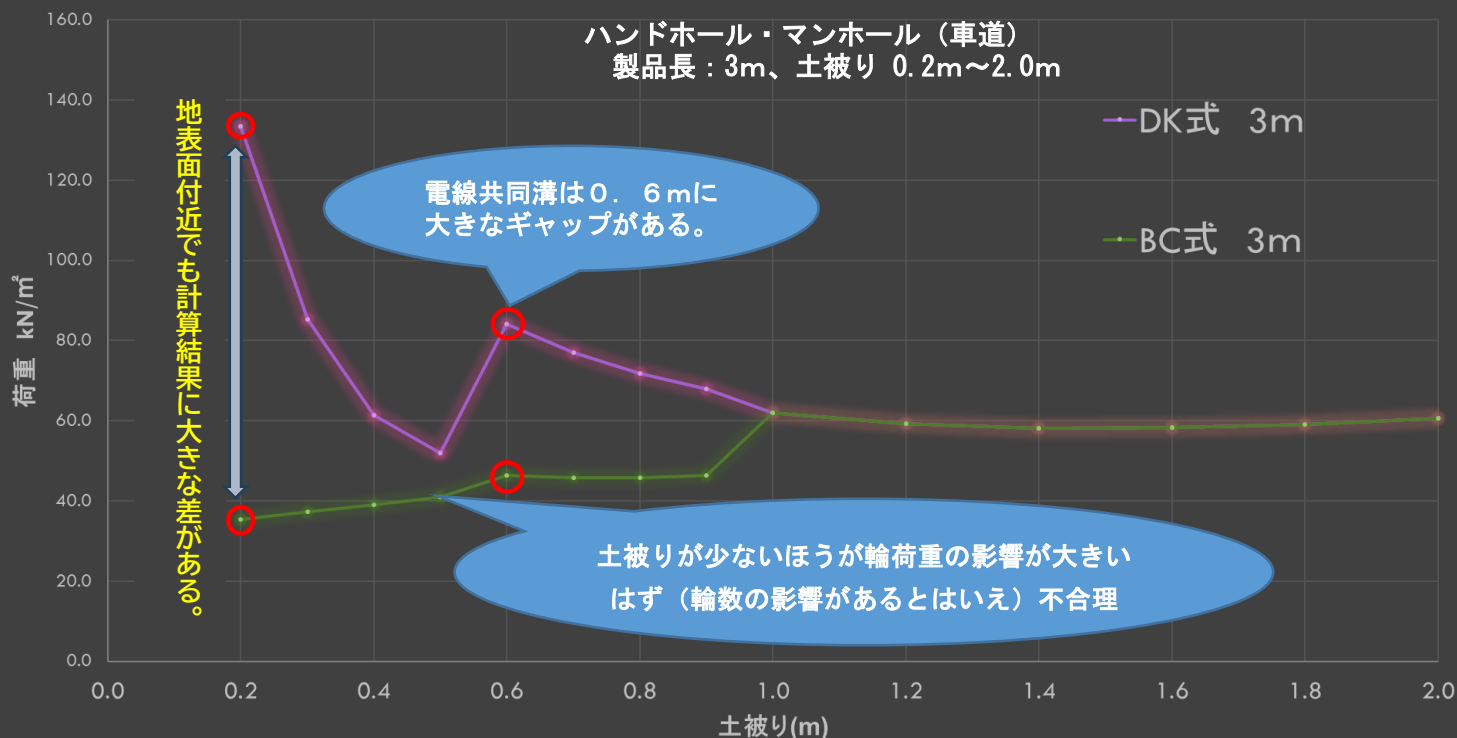
- ・土被り 1m以上で同じになる
- ・土被り 0.2m～1mにおいては、「ボックスカルバート協会提案式」のほうが小さくなる。
 - 長さ方向への輪数の影響は「電線共同溝」「ボックスカルバート協会提案式」でもほぼ同じ(後輪車軸間隔 1.3mの影響)
 - 幅方向への輪数の影響→「ボックスカルバート協会提案式」では車両幅で分散させている



従来の大型構造物（ハンドホール・マンホール）は0.6m以上の土被りが対象だがこれから増える浅層埋設や低コスト方式を含む事を考えると計算結果にギャップが出ない電線共同溝方式の採用が合理的では？（下図参照）

製品上部に作用する等分布荷重（大型構造物）

ハンドホール・マンホール（車道）
製品長：3m、土被り 0.2m～2.0m



直載荷重での試算

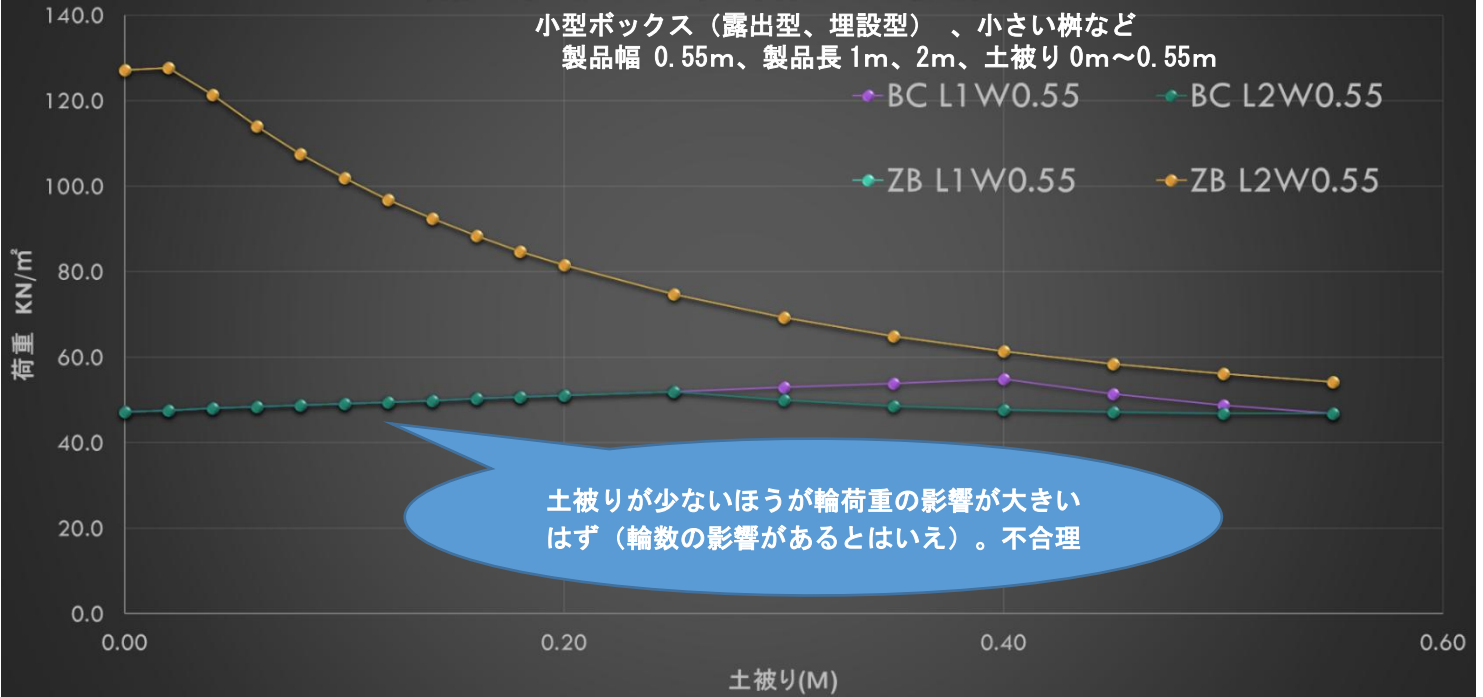
小型構造物 小型ボックス(露出型、埋設型)、小さい柵など

- ・土被りが深くなるほど荷重は接近する。
- ・いずれの範囲でも、「図集」のほうが荷重が大きい。
 - 長さ方向への輪数の影響は「電線共同溝」「ボックスカルバート協会提案式」でもほぼ同じ（後輪車軸間隔 1.3mの影響）
 - 幅方向への輪数の影響→「ボックスカルバート協会提案式」では車両幅で分散させているが、「図集+土被り・衝撃考慮」では輪荷重がダイレクトに作用。

土被りがない、または小さい小型構造物では、十分な荷重分散がないため、「ボックスカルバート協会提案式」では過小。輪荷重載荷寸法（0.2m×0.5m）を十分考慮した「図集+土被り・衝撃考慮」式の採用が合理的では？（次頁図）

製品上部に作用する等分布荷重(小型構造物)

小型ボックス(露出型、埋設型)、小さい樹など
製品幅 0.55m、製品長 1m、2m、土被り 0m~0.55m



土被りが少ないほうが輪荷重の影響が大きい
はず(輪数の影響があるとはいえ)。不合理

まとめ

電線を収納しているという特殊性を鑑みる(取り換えが利かない)と、**安易に製品強度の低下につながるような輪荷重の設定(=計算方法)は危険**。計算方法は**合理的かつバランスのよい**ものである必要がある。

そうすることで、**生活道路や小型道路**など、通過交通の限界がある(道路幅、車両重量制限があり、T-25の車両が通れない道路)場合は、計算の骨組みはそのままとし、**輪荷重をT-8**とするなどの実態に応じた荷重をする

ことで、実質スペックを緩和することもでき、**より柔軟な運用が可能**になるのでは。

○活荷重: 50kN/輪。

○各種ファクター(製品の大小・交通量の大小・土被りの大小・製品長・製品幅・実際の通行車両の種類)を考慮。

○大型構造物(ハンドホール・マンホール)かつ土被りがあるものについては、従来の計算手法を踏襲するのがよい。

大型構造物

ハンドホール・マンホール(車道)

直載・側載とも「電線共同溝」を適用

適用範囲:

土被り: $0.6\text{m} \leq D \leq 3\text{m}$

製品長: $1\text{m} \leq L$



小型構造物(蓋の下に本体がある構造)

小型ボックス(露出型、埋設型)、小型ハンドホール、小さい引込樹など

直載・側載とも「図集」の直載の計算に土被り・衝撃係数を考慮

直載「図集+土被り・衝撃考慮(車道: $i=0.4$ 、歩道: $i=0.1$)」

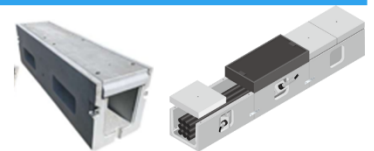
側載「直載の計算結果 $\times 0.333$ (土圧係数)」(側方土圧)

適用範囲:

土被り: $0\text{m} \leq D \leq 0.55\text{m}$

製品長: $1\text{m} \leq L \leq 2\text{m}$

製品幅: $0.4\text{m} \leq W \leq 0.6\text{m}$



○小型ボックス、小型の樹などの場合、**側載時の計算の見直し**が必要。

当日、【話題提供】として、国交省・低コストWGで検討されている「側溝内配管・側溝貫通」について民間からの提案をも議論されましたが、資料は非公開とさせていただきます。

NPO 無電柱ネットのホームページで 会員企業さまの紹介コーナー広告協賛を募集致します！

NPO 法人電線のないまちづくり支援ネットワークのホームページのトップページ(下図参照)で、会員企業さまの広告を出してみませんか!!
下の図の6カ所(黄色の矢印で示した部分)に枠を設けています。①～⑥のところですよ。



当 NPO のホームページのトップページの画面

当 NPO のホームページに法人会員さまのご紹介コーナーを設けることにいたしました。ここをクリック！



◆紹介ページの掲載にあたって

- ・当 NPO の法人会員(正会員・賛助会員)であること
- ⇒当 NPO の会員募集 のページはコチラから
- ・掲載にあたっては、掲載料をお支払いいただきます。

掲載期間	法人正会員	法人賛助会員
3か月	1万円	2万円
6か月	2万円	4万円
1年	3万5000円	7万円

・お申込後、掲載原稿データとリンク先 をご用意ください。

⇒ご入金のご確認がとれましたら、掲載を進めます。

・掲載のタイミングは、毎月1日と16日に行います。

・掲載終了の約20日～1か月前に「継続」か「終了」かのお伺いをしますので、ご返事をお願い致します。

・掲載原稿データは、JPEG データ、サイズは222px×58px をお願い致します。

・クリックしたときに御社の広告へと進むリンクの URL をご用意ください。

現在、サンプルとして左のホームページの画面の①②③④にバナーを設けています(上の HP の写真を参照下さい)。

広告募集は上図の①と③でも、クリックすると、詳細が見れます！



当 NPO では、会員の皆様に向けて、無電柱化に関する最新情報をお届けするとともに、国や自治体の関連施策や補助制度についても積極的に情報提供を行っています。さらに、HP での情報やインターン生の活動を通じて、一般の方々にも無電柱化のメリットを伝え、街づくりへの関心を高める取り組みを進めています。無電柱化は、災害時の安全確保だけでなく、美しい景観やバリアフリーの推進にもつながります。私たちと一緒に、誰もが安心して暮らせる街を実現しませんか？

ぜひ、NPO 法人電線のないまちづくりにご参加いただける会員の参加をご紹介ください！

<https://nponpc.net/%e4%bc%9a%e5%93%a1%e5%8b%9f%e9%9b%86/>

2025 年春 無電柱化 学生意識調査アンケート 現時点の結果と分析

インターン生のFです。

当 NPO のインターンで毎シーズン行っている無電柱化
学生意識調査アンケートを今回担当致しました。

まず従来のアンケート調査を見直し、知り合いから声
をかけていきました。

3 月 30 日時点で 77 件の回答をいただきました。

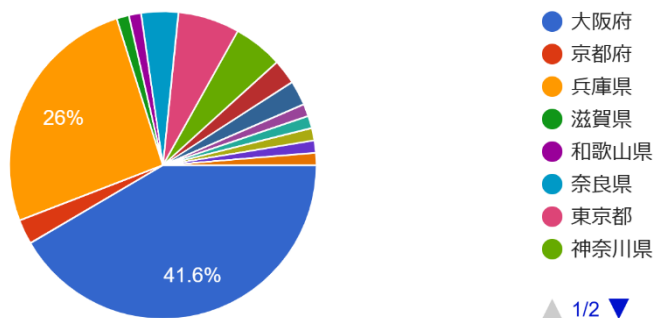
インスタや当 NPO の HP などでも案内いたしました。

以下、結果を報告致します。

●当 NPO での HP でのご案内

<https://nponpc.net/info/2025university-student-questionnaire/>

1.あなたの現在のお住まいの都道府県を教えてください。



大阪府：30 名、兵庫県：15 名、東京都：5 名

神奈川県 4 名、千葉県 3 名、京都府・埼玉県・奈良
県：2 名。静岡県・大分県・愛知県・福岡県・和歌山
県・滋賀県：1 名

⇒私が所属している大阪府と兵庫県の回答が当然多い
が、他府県でも幅広く回答いただけた。

2.大学は文系と理系どちらですか？

文系：72 名 理系：4 名 医系：1 名

⇒データから読み取れることは、友達などにアンケー
トを聞くことが多く、理系で答えてくれる方が少な
く、偏りがあった。理系学生へのアプローチをする
と結果もかわるかもしれない。

3.無電柱化について教えてください

聞いたことがある 54 名

聞いたことがない 23 名

⇒約 70%の方が無電柱化という言葉聞いたことがあ
る結果に！

電柱は危険だと思ったことがある 39 名

電柱は危険だと思ったことはない 38 名

⇒電柱の危険度は半々という結果になった。

「あるのが当然」という認識のもと、「電柱がある」
という危険性にピンと来ない、「無電柱化」というこ
とばは知っているが、そのメリットについてあまり伝
わっていない、さらに、電柱があることに対して仕方
がないと考えているのではと感じた。

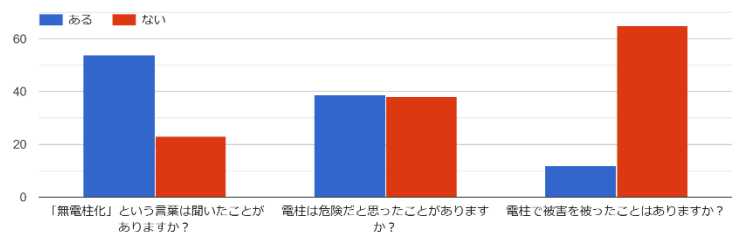
電柱で被害を被ったことがある 11 名

電柱で被害を被ったことがない 58 名

⇒意外にも約 15%の方が「電柱で被害を被っている」と
いうアンケート結果を得ました。

つまり 6.5 名中 1 名の方が被害を受けている計算にな
ります。体感的には多いと感じますが、被害の度合い
をもっと深掘りしないといけませんね。

1. それぞれの質問に「ある」か「ない」で答えてください



4. 無電柱化のメリットの割合(複数回答可)

景観の保護：57 名

防災：41 名

交通安全：32 名

資産価値の向上：11 名

⇒国は防災を優先して無電柱化を進めているが、一般
の学生からすると、景観のような目に見えて結果が
分かることを指示している感じがしました。

⇒資産価値の向上では、11 名と少ないが、無電柱化に
ついて詳しく知っている方がいたことが分かった。

⇒その次に、防災面で無電柱化を進めた方がいいとい
う結果が出たが、それは、ある意味、防災面での無
電柱化のメリットが市民には浸透していない結果と
なった。

5. 無電柱化のデメリットの割合(複数回答可)

工事のコスト：59 名

メンテナンスが行いにくい：45 名

工事中の通行の妨げ：22 名

工事の際の騒音：19 名

鳩が電線に止まらない：1 名

液状化：1 名

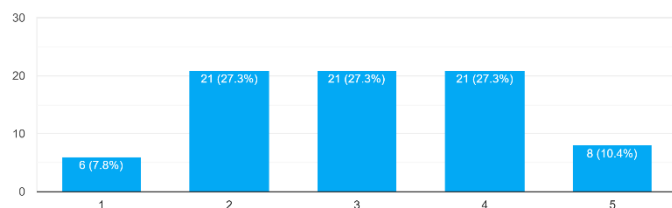
⇒無電柱化のデメリットが「工事のコストが高い」、
「メンテナンスが行いにくい」の二つが多いこと
は、現在の無電柱化が課題していることと一致して
いることがわかった。

課題の克服が無電柱化推進の一丁目一番地。

6. 無電柱化を行うべきか

メリットとデメリットを考慮して、「無電柱化」に
ついて 1～5 の段階でどれを選びますか？

4. メリットとデメリットを考慮して、「無電柱化」について1～5の段階でどれを選びますか？
77件の回答



1 : 6 (7.8%) 2 : 21 (27%) 3 : 21 (27%)
4 : 21 (27%) 5 : 8 (10.4%)

上のように、選択肢が均等に分散された結果により、
無電柱化の可否がいかにかが分かった。

1-1「無電柱化」という言葉を聞いたことがある方に
質問です。

1.どこで「無電柱化」の言葉を聞いたのか (62 回答)

テレビ、メディア、新聞、雑誌等 30 名 (48.4%)

学校の授業 16 名 (25.8%)

SNS : 14 名 (22.6%)

当 NPO のホームページ 10 名 (16.1%)

家族、親戚など 5 名 (8.1%)

友達、知り合いなど 4 名 (6.5%)

テレビなどのマスメディアや SNS から聞いたことが多いという回答は、日常生活の中でメディアが「無電柱化」の発信をしている機会が少なからずあって、それが印象に残っているということ。防災面などのマイナス面で無電柱化を紹介することが多いので、印象に残っているのかもしれませんが。

学校の授業も上位にきていますが、**中学・高校・大学のどの段階で聞いたのかでかわってくるかもしれませんが、先生が無電柱化を社会課題と捉え、生徒に伝えていること、それを生徒が印象に残していると言えるのではないのでしょうか。**

家族や友人の中で会話することは、基本少ないのは、私も同様なので分かります。

2:どれくらい無電柱化について知っているのか

(61 名の回答)

よく知っている : 7 名

知っている : 19 名

言葉を知っている程度 : 31 名

この回答件数から、「無電柱化」について内容まで知っている人と知っている人が約 34% (26/77)、つまり 3 人に 1 人いることに気づけた。

身内票が入っていることや理系の学生から回答をもらっていないことなどがあるので、その点を改善すると、結果がかわる可能性がありますね！

77 名の回答者のうちの「言葉を知っている程度」31 名と未回答のひと 16 名の計 47 名は、大学生レベルでは

知っておいてほしいです！

この数字を引き上げる努力をしていきたいです！

3. NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークを知っていますか？

知っている : 12 名

知らない : 65 名

回答者のほとんどが当 NPO を知らないことが判明した。

逆に当 NPO を知っていただくきっかけになってもらえたらうれしいです。

4.このアンケートをどこで知りましたか？

SNS で : 31 名

知人からの紹介 : 19 名

その他 : 16 名

ホームページで : 0 名

NPO 主催のイベントの中で : 4 名

ホームページで無電柱化学生意識調査のアンケートを告知したにもかかわらず、「ホームページから知った」という回答がなかったのは、非常に残念です！

ホームページを見てもらうことが NPO の認知を広げることになるので戦略的な視点にたってアンケートの案内を進める工夫を検討する必要があると感じました。

5. SNS フォローしてくれる人の割合

いいえ : 50 名

はい : 27 名

約 35%の方だけど、SNS をフォローしてくれる人がある程度いるという結果になった。

その他のご意見から(一部ご紹介)

・広い道路であれば工事可能であろうが、狭い道路も少なくない。無電柱化の必要性は理解しているが、貴団体では工事が困難な地域のことを考えているのか。とりあえず発信すれば活動実績になると考えて、無闇やたらと発信しているだけではないのか？

⇒工事が困難な地域がある事は存じております。その現状に対して、民間の知恵を結集して製品・工法の見直しや現行制度で規制緩和がはかれることができないかを話し合う活動をしています。

この活動を通じて、電柱・電線のない、安心安全な街づくりができればと考えております。私どもの活動が皆様に知っていただき、ご理解いただけたら幸いです。

・電柱が写っている風景写真が好きなので完全には無くないで欲しいな一っと思っています。電柱がある風景も一種の文化の一部かもしれない

⇒貴重なご意見をありがとうございます。電柱・電線のある風景を情緒ある日本の風景だと感じておられるかたはおられますね。無電柱化推進派もいれば、電柱

肯定派がいてもいいと思います。

・インターンシップお互い頑張りましょう！頑張ってください！

⇒応援してくださり、ありがとうございます！こちらも頑張りますので、これからよろしくお願いします。

・無電柱化についての発信についてなのですが、自分自身あまり無電柱化について詳しくなくどのような発信をすれば良いのかわからず「いいえ」を選択させていただきました。もし、詳しくない人が発信するのであればどのような発信の方法をとれば良いのでしょうか。

⇒貴重なご意見をありがとうございます。まず、無電柱化について詳しくないという件についてですが、当 NPO のホームページや動画を検索して色々目に触れてみて下さい。

◎NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークのHP

<https://nponpc.net/>

◎NPO・HP 中の人気記事「無電柱化とは」

<https://nponpc.net/whatisnonpole/>

アンケート調査をしてみよう(感想など)

アンケートで500件を目標にして声掛けをしましたが中々集まらず77件にとどまりました。最低ラインの50件は達成し、分析できるほどの件数は確保出来ました。

さらに、今回は、前回と違って質問内容を吟味し、付け加えたことで、分析できる内容が増し、上記のような興味深い回答を得ることができたと感じています。私なりに達成感を得られ、アンケート調査をやって良かったと思います。

そして、回答して下さいた皆さま、本当にありがとうございました！！

2025 年春 無電柱化 一般向け 意識調査アンケート 現時点の結果と分析

インターン生のFです。

前述しました無電柱化学生意識調査アンケートですが、今回のインターンでは、学生に限定せず、一般のかたにもアンケート調査をとり、学生との認識がどれだけ違うかを測ってみることにしました。

まず身内や、当 NPO の会員、自治体関係者等に声をかけさせていただきました。

3月30日時点で65件の回答をいただきました。

インスタや当 NPO のHP などでも案内いたしました。

以下、結果を報告致します。

●当 NPO のHP でのご案内

https://nponpc.net/info/2025nonpole_general-questionnaire/

1. あなたについて、どれに該当しますか？

NPO の会員・関係者：17 名 (26.2%)

一般の方：46 名 (70.8%)

その他：2 名

2. NPO 法人について、あなたは知っていますか？

知らない：36 名 (55.4%)

知っている：29 名 (44.6%)

⇒一般のかたが70%を占めているのはよかった。啓発の一環で進めているので外部のかたが参加されているのはよかった。

3. このアンケートを何で知りましたか？

SNS：21 件 知人からの紹介：19 件

NPO のメール案内：11 件 NPO 主催のイベント内3件

ホームページ：2 件 その他：9 件

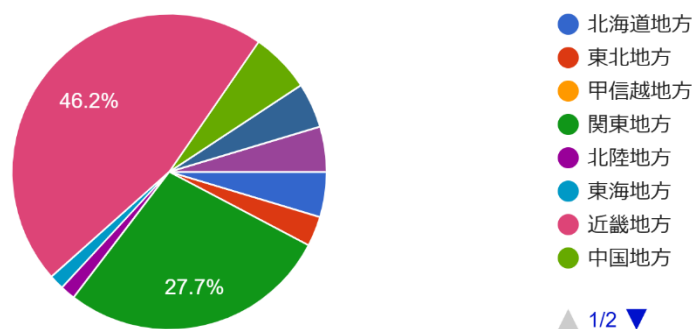
4. お住いの地域は？

近畿地方：25 名

関東地方：16 名

中部地方・九州地方・沖縄地方・北海道地方：3 名

東北地方・北陸地方・東海地方：1 名

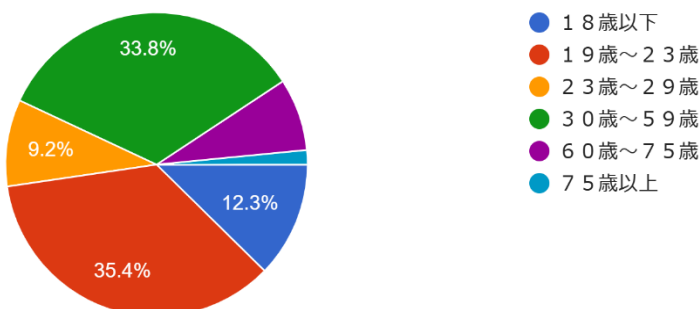


5. 年齢は？

18 歳以下：8 名 19 歳～23 歳：22 名

23 歳～29 歳：6 名 30 歳～59 歳：16 名

60 歳～75 歳：3 名 75 歳以上：1 名



⇒今回のアンケートで、18歳以下のからが8名も答えてくれた。

6. 性別は？

女：28名（43.1%）

男：35名（53.8%） 回答しない：2名（3.1%）

7. 「無電柱化」という言葉を聞いたことがありますか？

ある：35名 ない：21名

7-1. どこで「無電柱化」という言葉を聞きましたか？ （46件）

テレビ、メディア、新聞：20件（43.5%）

無電柱化に携わっている関係者：14件（30.4%）

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワークのHP：10件（21.7%）

SNS：8件（17.4%）

家族・親戚など：6件

学校の授業など：5件

友人、知り合いなど：2件

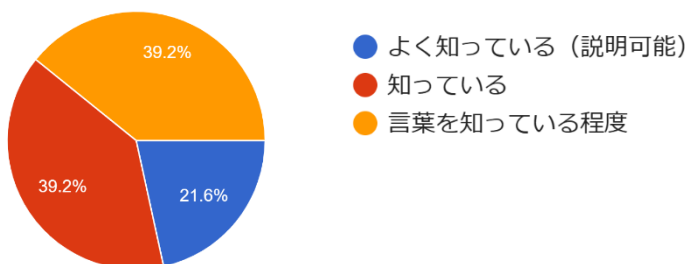
⇒こちらの回答に関しては、学生のアンケートと似通った回答（NPO関係者以外）となった。

7-2. 「無電柱化」についてどれくらいの知識を持っていますか？（回答51件）

よく知っている（説明可能）：11件（21.6%）

知っている：20件（39.2%）

言葉を知っている程度：20件（39.2%）



⇒無電柱化を知らないひとは14件（21.5%）。大学生の調査では、16/77で20.8%。ほぼ同じくらい。

7-3. 「無電柱化」は、海外で進められていることを、あなたは知っていますか？（回答61件）

知っている：50.8% 知らない：49.2%

7-4. あなたが知っている無電柱化を実施している国、または進めている国をいくつかあげなさい。

⇒国名（回答者23名）件数52件

イギリス：13件 フランス：10件 ドイツ：7件

イタリア：6件 アメリカ：5件 ベルギー：5件、

シンガポール：2件、韓国：2件、台湾・香港：2件

オランダ：1件 中国：1件

⇒ヨーロッパの特にイギリス、フランス、ドイツが無電柱化の進んでいる国という認識は皆さんもっている。以外とベルギーを答えるひが多かった

8. 電柱に好感を持っている方に質問です。

電柱が好きな理由を具体的に教えてください

- ・現状国内で普及しており、信頼性があるから
- ・少しおしゃれ、小鳥とかとまったりするし
- ・小学生の頃電柱を区切りにランドセルじゃんけんしてて楽しかったから。ジェーボー・スケボーの練習をする時に役立った
- ・そこの住所がすぐわかるからです
- ・人々の努力が伝わり、その人たちに感謝の意を向けられるようになるから
- ・風情がある

9. 電柱で被害を受けた方に質問です。

具体的にどのような被害ですか？

- ・ぶつかった
- ・雪の日に滑って電柱にぶつかった
- ・鳥のふんの被害
- ・比較的細い道で、車で通行中のにすれちがい時に邪魔になっている。
- ・自転車で激突した
- ・車を停車していて少し移動しようとしたとき、後ろの電柱にぶつけた
- ・電柱にぶつかって怪我、電柱が道幅を狭めており、車での通行が難しい場所がある、電柱に犬の尿をさせる飼い主が多く、臭い。
- ・自転車で走行中に手が当たってしまった
- ・自転車でよそ見してたらぶつかりました
- ・自転車通行時に邪魔
- ・台風の時、倒れて停電した
- ・後ろ歩きしたら、ぶつかって転んだ
- ・車で離合がしづらくて困った
- ・考え事していて電柱にぶち当たった
- ・無電柱化工事施工において邪魔だった
- ・避けようとして溝に落ちそうになった
- ・頭をぶつけた

10. 無電柱化のメリットは何だと思いますか？（65件・複数回答可）

景観の保護：50件 防災：45件 交通安全：33件

鳥の糞被害が抑えられる：28件

資産価値の向上：12件 乱雑な空間がすっきりする：1件 インフラの長寿命化：1件 ない：1件

⇒**景観の保護をあげるひとが（学生意識調査と同様）多かったのが印象的だった。**政府は、防災目的の無電柱化を進めているが、やはり自身の身に起こらないと、実感がわからないのだろうか。日頃から防災意識をもってもらうことも必要な気がする。

11.「無電柱化」のデメリットとは何だと思いますか？（65件・複数回答可）

工事のコスト：54件

メンテナンスが行いにくい：29件

工事中の通行の妨げ：15件

工事の際の騒音：12件

不明：2件（分からない、無い）

⇒**デメリットであげられている「工事のコスト」は学生意識調査と同様で、国が掲げている低コスト・短期間でできる無電柱化の実現を進めないと活路が見いだせない気がしました。**

12.どのようにすれば、無電柱化のデメリットが解消されると思いますか？（65件）

- ・コストの掛からない工事の方法を考える：32件
- ・新技術の製品開発を行う 18件
- ・工事のコストを海外の観光客から徴収する：13件
- ・解消するのは難しい：10件
- ・工事の騒音の対策を考える：9件
- ・深夜に工事を行う：5件
- ・デメリットはない：1件
- ・国、行政からの支援：1件
- ・地中化以外の方法を考える：1件
- ・コストの掛からない工事の方法を考える：1件
- ・災害時の対策がたてづらい、分からない：2件

⇒一般向けのアンケートに無電柱化のデメリットの解消法を今回入れたことで、より幅広い意見を聞くことができた。なかなかコレといった解消法はないかもしれませんが、様々な意見を聞き、それを共有することで、解決の道を探っていきたいと思います。**デメリットを解決することが、無電柱化を進める第一歩だと私は考えています。**

13. メリットとデメリットを考慮して、「無電柱化」の必要性について1～5の段階でどの程度を選びますか？（65件）

好感度 5：16（24%） 好感度 4：18（27.7%）

好感度 3：22（33.8%） 好感度 2：6（9.2%）

好感度 1：3（4.6%）

⇒皆さん、概ね無電柱化に対して好意いただいているようですが、諸手をあげてではないことは、今までのアンケート結果で明白かと思います。地道に解消していきましょう！

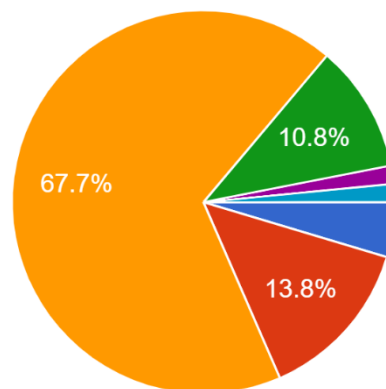
14.地中化された電線類は、滅多に断線することがない（架空線に比べてメンテナンスが軽減される）という認知はありますか？（65件）

ある：30名 ない：35名

⇒これも今後の検証等に委ねる部分があると思います。無電柱化を推進しながらも、架空線・地中線のメリット・デメリットを活かしたインフラ整備を考えていきたいですね。

15.「無電柱化」についてあなたの当てはまる意見はどれに近いですか？（65件）

- ・出来るところから徐々に進める：44件（67.7%）
- ・もう少し良い方法を考えてから進めては？：9件（13.8%）
- ・一気に「無電柱化」を進める：7（10.8%）
- ・そもそも、進める必要がない：3（4.6%）



- そもそも、進める必要が無い
- もう少し、良い方法を考えてから進めては？
- 出来るところから、徐々に進める
- 一気に「無電柱化」を進める
- どちらでもない
- 今の社会において、もっと違うところに力を入れるべき。

16. アンケートの評価

星1つ→0件

星2つ→1件

星3つ→16件（25%）

星4つ→31件（48.4%）

星5つ→16件（25%）

総合平均評価 3.95

その他、ご意見など(一部紹介)

- ・近年、宅地造成工事等は減少していますが、新規造成地は条例等で無電柱化を義務化すればいいのでは。
- ⇒今後の無電柱化の動向を注視したいと思います。
- ・「無電柱化のデメリット」は、「無電柱化を進める際の課題」なのではと思いました。
- ⇒アンケートの不備についてコメントしていただきありがとうございます。
- ・無電柱化を知らない人はどこからこの活動を知ることができますか？
- ⇒ネットで **NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク** を検索していただくと、ブログをはじめ無電柱化について解説しているものが多いのでご覧いただけたら幸いです。
- ・自然災害対策も忘れないでほしい。
- ⇒無電柱化を進めるためのご意見をありがとうございます。参考にさせていただきます。
- ・とても見やすく分かりやすいアンケートでした。
- ・私にはあまり力がないのですが、世の中(とくに日本人)に無電柱化の理解が広まってほしいです。
- ・応援しています。頑張ってください！
- ・コストがかかっても無電柱化が進んでいけますように。
- ⇒こちらこそアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
- 頑張りますので、これからの成長にご期待ください。

アンケート調査をしてみて(感想など)

今回初めて一般向けのアンケートを実施してみました。いざ始めたアンケートですが、会員のかたに塚田さんから案内していただく以外、アンケートの訴求方法が見いだせず、NPOのホームページで案内したり、Instagramで宣伝したりしてしましたが、100件を超えることができませんでした。

ただ頂いた回答から、一般のかたと学生とでアンケートを見比べたとき、世代間で回答がやや違っていたり、一般のかたに関しては、最後の意見等で応援のメッセージを入れていただいたりと、大変励みになりました。

無電柱化を徐々に進めた方が良いという意見を多くお寄せいただき、みなさんがそう思っていることに嬉しいと感じました。

アンケートに答えて頂いた方はありがとうございました。

アンケートは、今夏のインターンに引き継ぎ、新たな訴求をしながら、無電柱化の日(11/10)まで継続してもらおうと思います。引き続きよろしくお願い申し上げます。

◆◆今春活動しているインターン生の◆◆ その他の活動のご紹介

今春、3名の大学生が大阪の事務所で活動してくれました。インターン生も時世の変化からか、1年生から始めるひが多いそうです。今回の3名も全員が1年生でした。まだ途中のものがあるので次回ご紹介します。

小中学生向け&一般向けの三つ折パンフレット「無電柱化ってなに？」を作ってみました！！

https://nponpc.net/info/20250328npo_undergrounding_brochure/



インターン生ブログ

・インターン生が無電柱化のメリット(景観面)を解説。

<https://nponpc.net/2025/02/20/15626/>



・インターン生が無電柱化のメリット(防災面)を解説。

<https://nponpc.net/2025/02/14/intern-blog-disaster-prevention/>

